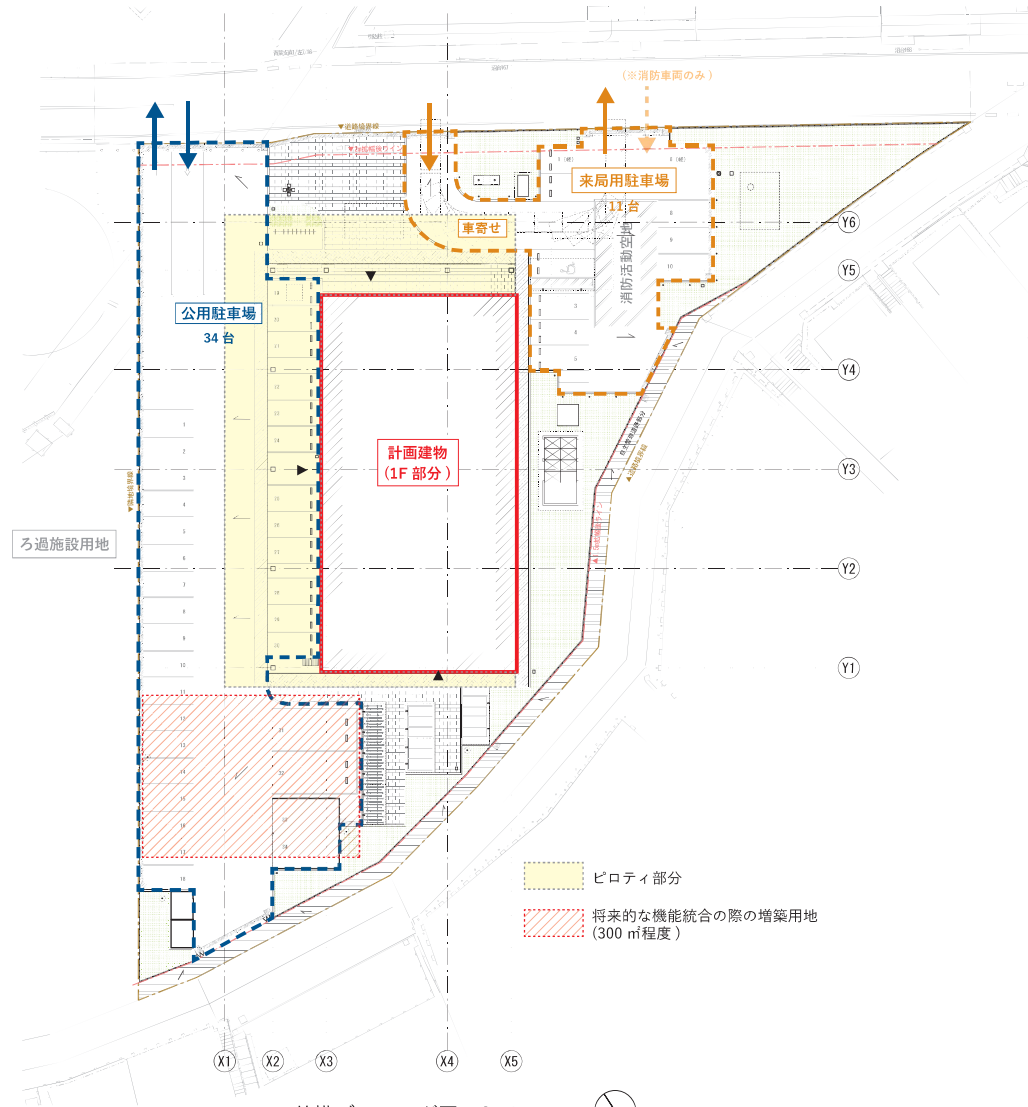


A-6 配置計画 / 平面計画 / 各部計画

A-6-01 配置計画

■配置ゾーニング

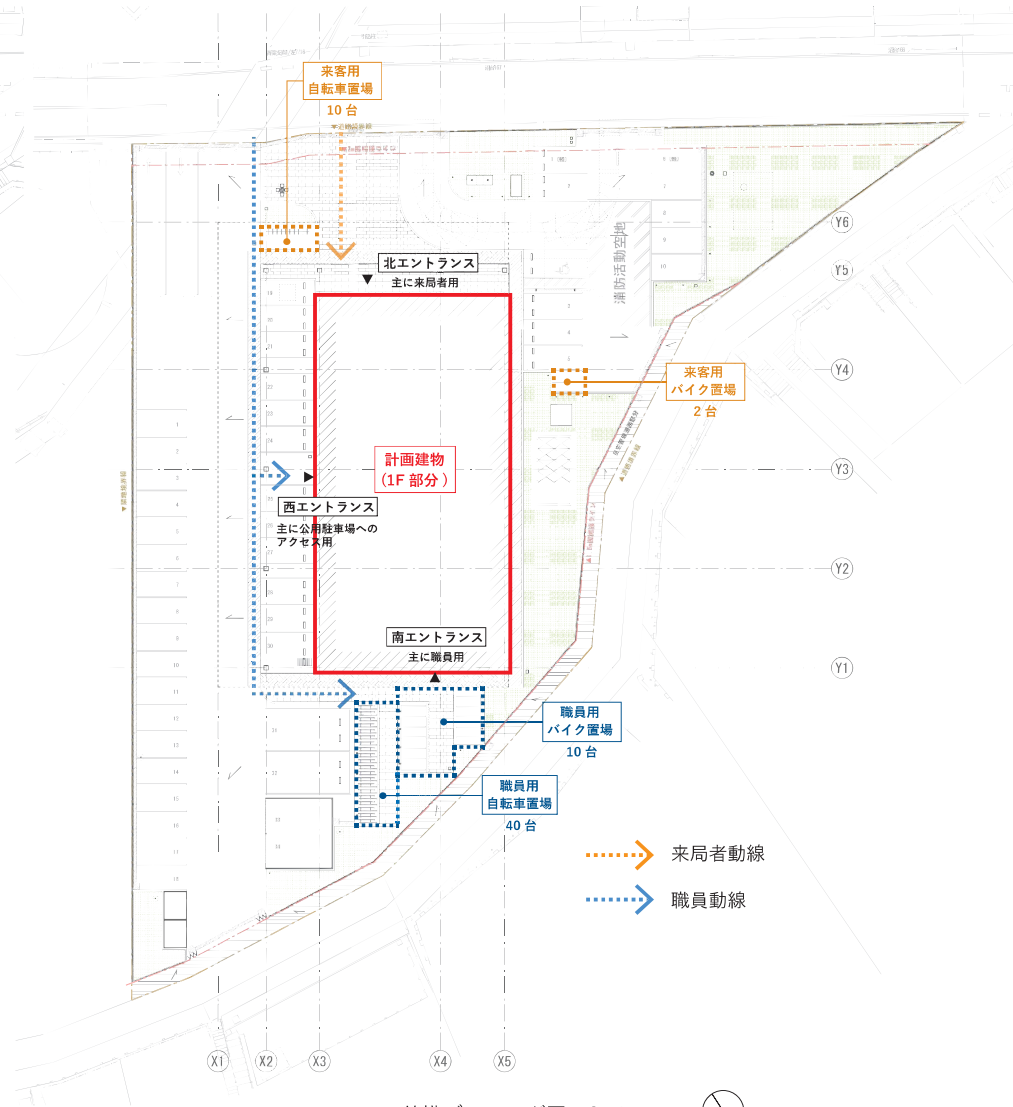
- ・駐車場へのアクセスは、北面道路（市道 00-007 号線）からとしている。
- ・公用駐車場はろ過施設と連携が取りやすい西側、来局用駐車場を東側に配置し、公用 / 来局用を明確に区分する計画としている。
- ・来局用駐車場にはピロティ部分に車寄せを設け、雨天時でも雨に濡れずに乗降できる計画としている。
- ・来局用駐車場は入口と出口を分けることで混雑なくスムーズに利用できるようにしている。



外構ゾーニング図 S=1:500

■動線計画

- ・建物へは3箇所のエントランスを設けている。
- ・前面道路からアクセスしやすい北面に来局者用のエントランスを設け、南面・西面に職員用のエントランスを設けることで、来局者と職員の動線を区分する計画としている。
- ・来局用 / 職員用駐輪場はそれぞれの動線に沿って、現状の利用実態に即した台数を個別に確保する計画としている。



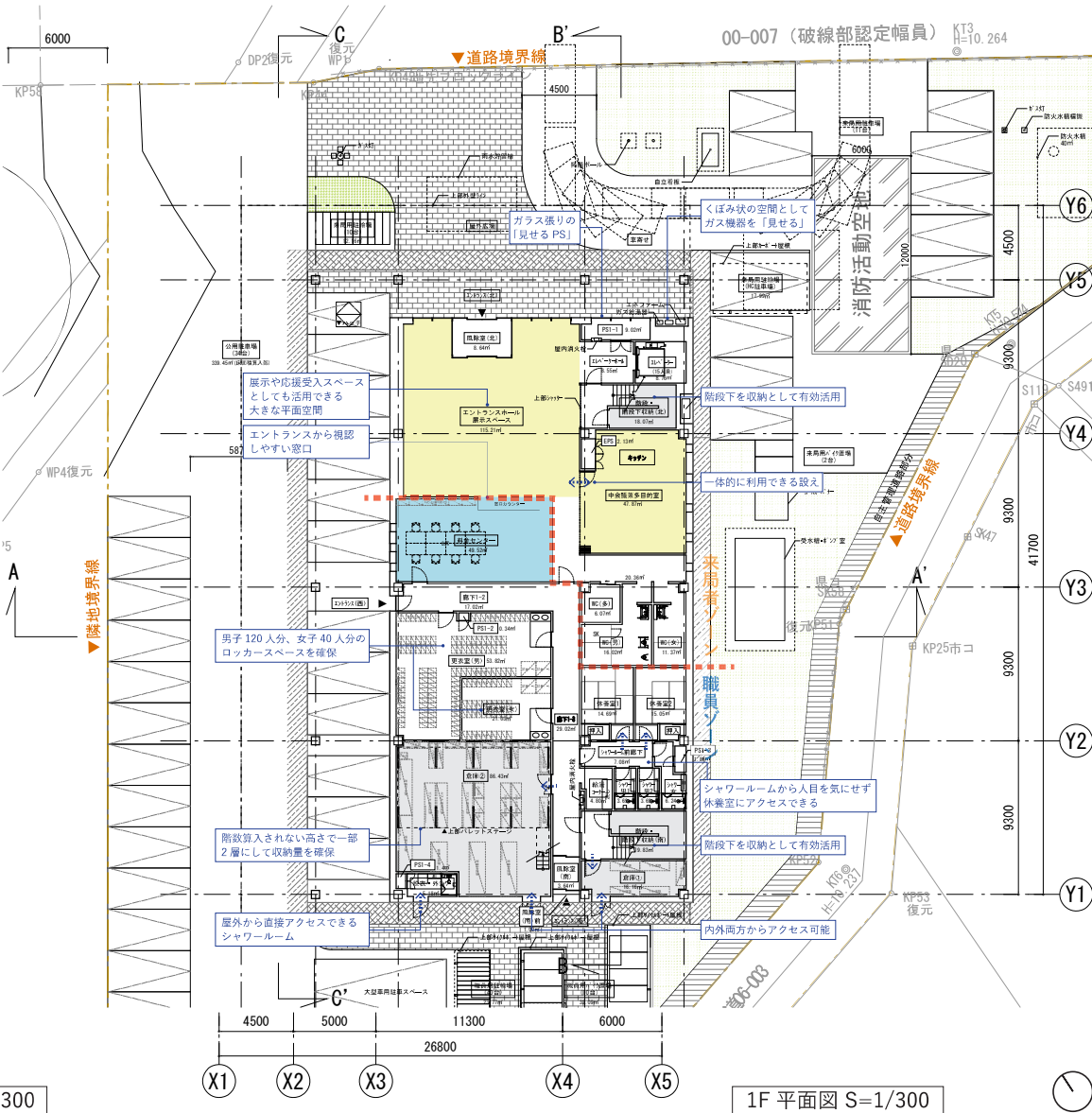
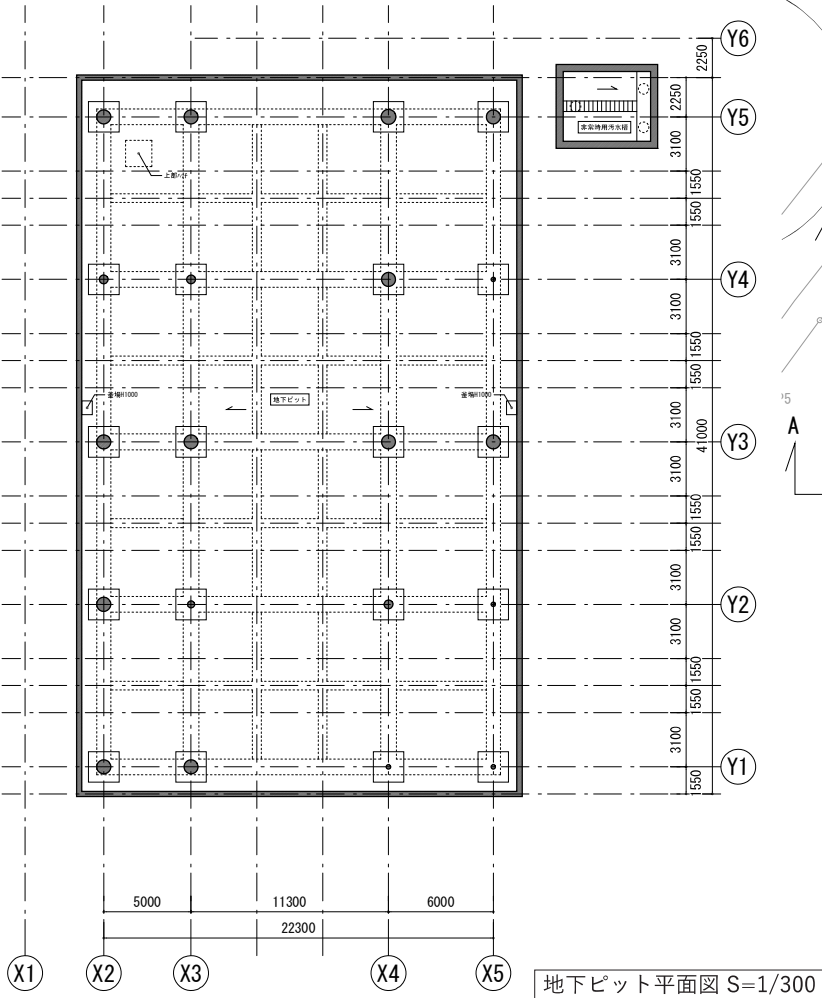
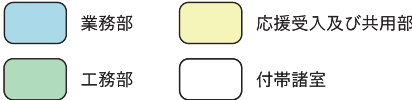
外構ゾーニング図 S=1:500

A-6 配置計画 / 平面計画 / 各部計画

A-6-02 平面計画

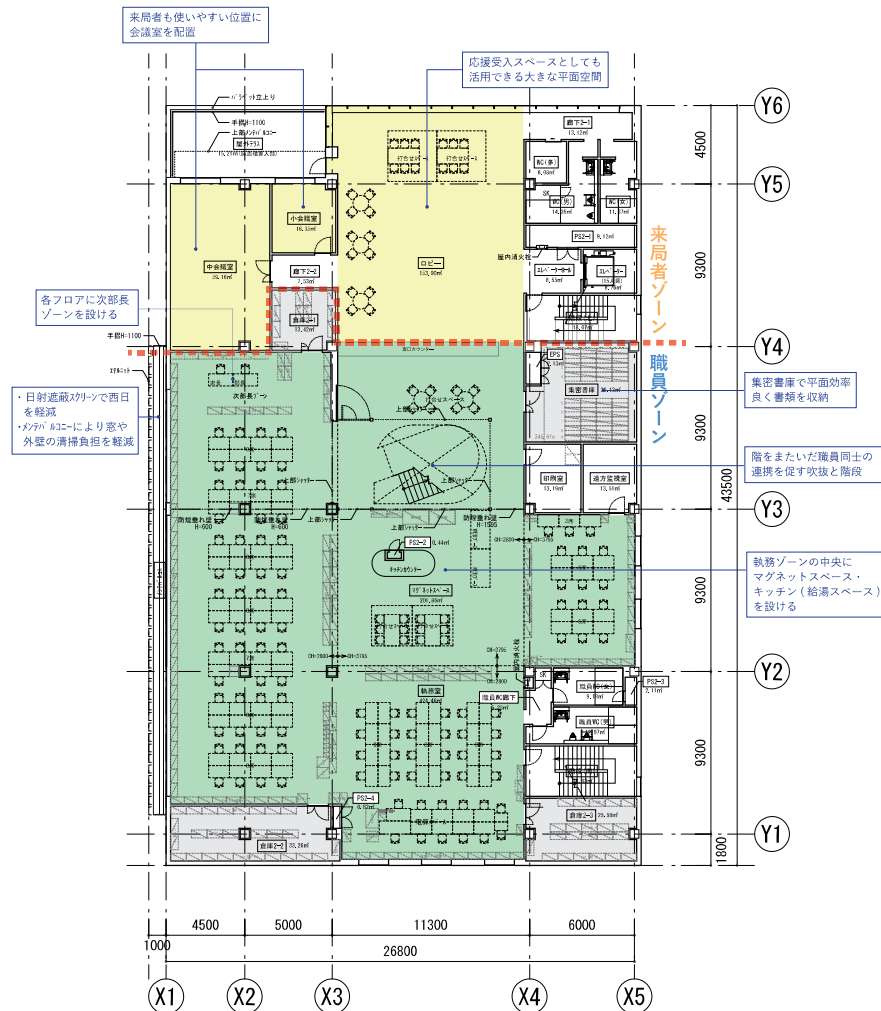
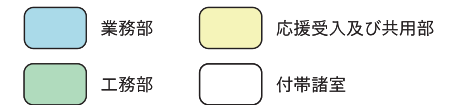
■計画概要

- ・1F は床面積をなるべくコンパクトにまとめることで免震工事範囲を抑えつつ、ピロティ部分を屋外広場や駐車 / 駐輪スペース、災害時には物資の受入スペースとして活用できるようにする。
- ・北側は来客者ゾーンとして開かれたつくり、南側は職員ゾーンとして閉じたつくりとしている。

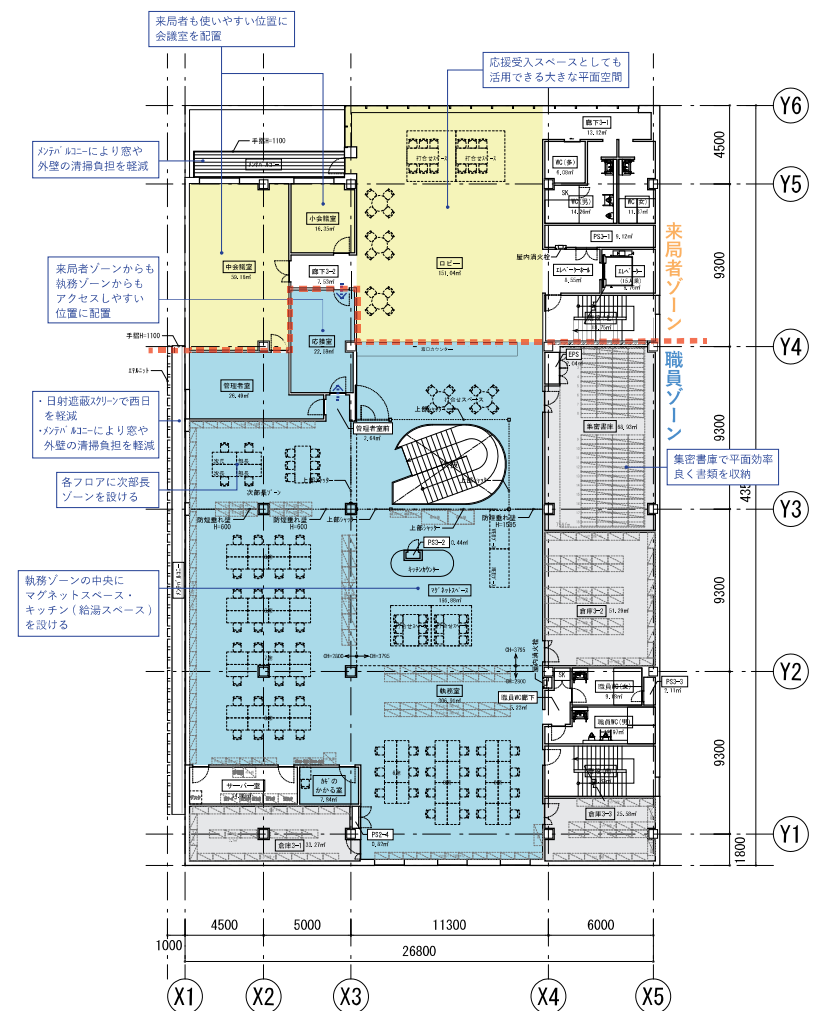


A-6 配置計画 / 平面計画 / 各部計画

- ・窓口業務がある料金センターを除き、基本的には2F/3Fに執務ゾーンをまとめ、各部門（工務部／業務部）がワンフロアにレイアウトできるようにしている。また、部門横断的な連携もできるように、執務室の中央に上下階を繋ぐ階段を設けている。



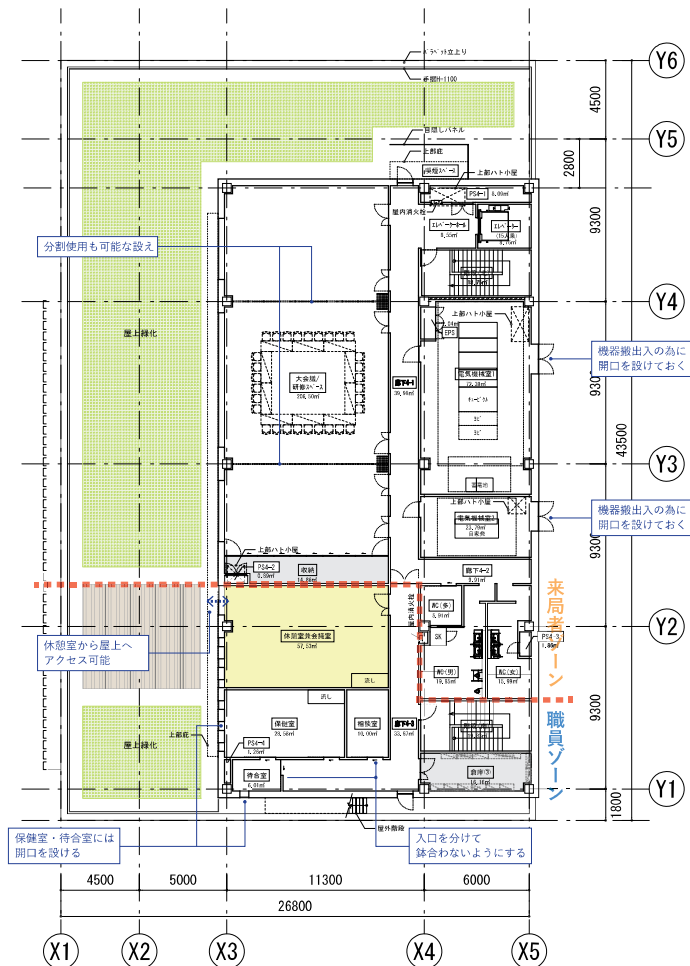
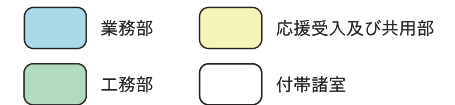
2F 平面図 S=1/300



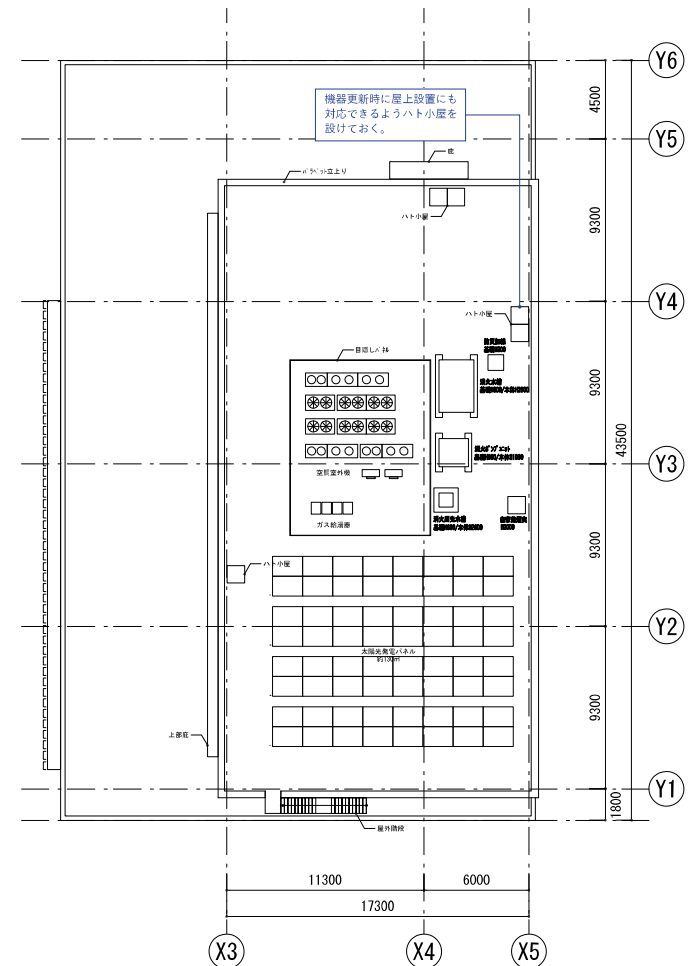
3F 平面図 S=1/300

A-6 配置計画 / 平面計画 / 各部計画

- ・4F はセットバックし、周辺への日影の影響を抑えつつ、屋上部分を緑化、テラスとして有効に使用できるようにしている。
- ・職員専用エリアに休憩室兼会議室を設けることで、職員が働きやすい環境を整備するとともに、限られたスペースの有効活用を図ります。
- ・4F 屋上は空調設備機器と太陽光発電パネル置場としている。将来の機器更新時にキュービクルを屋上設置できるようにハト小屋を設けている。



4F 平面図 S=1/300



屋根伏図 S=1/300

A-6 配置計画 / 平面計画 / 各部計画

A-6-03 セキュリティ計画

■カギ仕様

- ・原則カードキーによる電気錠とする。
- ・2方向避難動線上の扉については、パニックオープンタイプとする。

■入退室管理

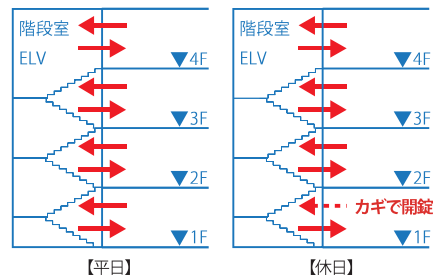
- ・エントランス（西）、エントランス（南）の2箇所職員の入退室管理を行う。

■監視カメラ

- ・屋外は建物4隅、屋内は来局 / 職員ゾーンの境界部に設置する。
(4FについてはELVホールに設置)

■その他

- ・上記内容については、実施設計段階で再度検討を行い最終決定するものとする。



【凡例】

● 電気錠（カードキー式）

● サムターン錠

● シリンダー錠

● 空錠（カギなし）

P.O パニックオープン（緊急時自動開錠）

★ 入退室管理

● 監視カメラ設置位置

■ 休日利用があるゾーン

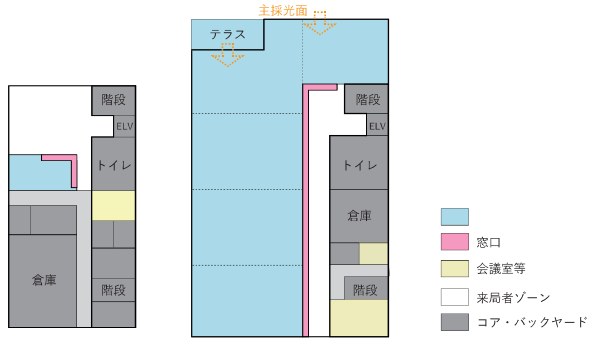
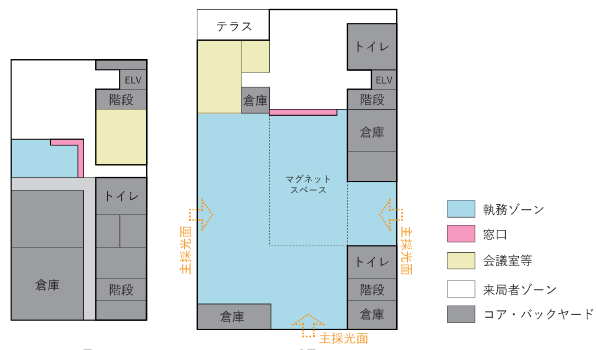


A-6 配置計画 / 平面計画 / 各部計画

A-6-04 各部計画

■窓口

・局舎の窓口形態について、比較検討を行い、B案のワンストップ型を採用することとした。

		A 案 従来型		B 案 ワンストップ型（来局窓口と執務ゾーンの分離）	
イメージ図					
説明		課ごとに窓口を設けた一般的な執務室レイアウト		・窓口を1箇所にとめたワンストップ型のレイアウト ・来局者と執務のゾーンが明確に分かれているため、セキュリティ強化及び生産性の向上が見込める	
利便性・生産性	来局者のアクセシビリティ	・一部の窓口がエレベーターから遠くアクセスしづらい	△	・来局者ゾーンが限定されていてわかりやすい	○
	窓口	・すべての課が窓口面に面して窓口対応しやすい	◎	・一部の課は窓口までのアクセス距離が長くなる	△
	トイレ	・来局者と共用であるが、執務ゾーンから近く使いやすい	○	・来局者ゾーンに出て使用することになり、遠い（もしくは執務ゾーンにもトイレを設ける必要がある）	△
	執務空間	・従来通り	○	・来局と執務のゾーンが明確に分かれているため、落ち着いた執務環境になる	◎
	平面のフレキシビリティ	・従来通り	○	・大きな平面を確保できるため、レイアウトの自由度が高い	○
	職員間のコミュニケーション・連携	・従来通り	○	・職員間（関係部署間）の相互連携がしやすい	◎
	アメニティ	・従来通り	○	・中央に事務用品等をまとめたマグネットスペースを設けることができる	◎
全体	収納	・執務ゾーン内では主にキャビネットでの収納となる。 ・各課の直近にキャビネットを設けられるため、業務動線上の利用がしやすい	○	・執務ゾーン内に倉庫を設けることができる	○
	会議室（及び拡張性）	・会議室の面積を確保しづらい ・1Fにおいてはエントランスに面して会議室を設けられない	△	・会議室の面積を潤沢に確保できる ・1Fにおいてはエントランスに面して会議室を設けることができる	○
	設備計画	・トイレの位置が各階で揃うのでインシタル/メンテナンスコスト上有利	○	・トイレの系統が分かれるのでコストが上がる	△
全体	ZEB 計算	・執務室のメインの開口部を北面にできるのでZEB計算上有利	○	・執務室の開口が南/東にも必要となるため空調負荷増大=ZEB計算上不利	△
	応援受入	・応援受入スペースとして活用できるのは1Fエントランスのみ	△	・1Fエントランスだけでなく2Fの来局ゾーンも応援受入として活用できる	○
コメント		従来型のオフィスレイアウトであり、職員にとって馴染みやすい一方でフリーアドレス等の多様な働き方への対応には課題がある。		多様な働き方に対する提案性はあるが、職員の慣れ等、運用面での抵抗がないか確認が必要である。	

A-6 配置計画 / 平面計画 / 各部計画

■トイレ

□全般

- ・1F/4Fについてはフロアに1箇所、2F/3Fについては来局者ゾーンと執務ゾーンそれぞれに1箇所ずつ設ける計画としている。

- ・トイレは「バリアフリー法」及び「千葉県福祉のまちづくり条例」に基づいて整備する。

- ・衛生器具数は空気調和・衛生工学会の「衛生器具の適正個数算定法―事務所」に基づき、適正器具数を整備する。

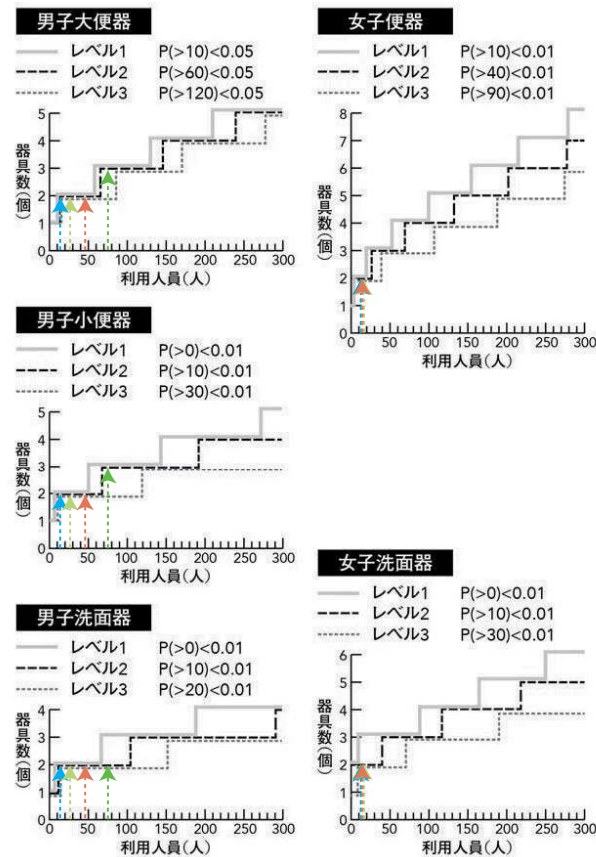
□多目的トイレ

- ・多目的トイレは各階に設け、2F/3Fは来局者ゾーン側に設けている。

- ・多目的トイレにはオストメイト設備と多目的シートを設ける。

□衛生器具の個数

- ・衛生器具数は、[標準的な待ち時間] であるサービスレベル2を基準として、想定利用人数に応じて適宜器具数を調整している。



※レベル1：良好なサービスレベル
 レベル2：標準的なサービスレベル
 レベル3：最低限のサービスレベル

【衛生器具の適正個数算定法―事務所】

【各階の職員数】

階	室名	男性	計	女性	計
4F	大会議	23	47	7	15
	食堂カフェスペース	23		7	
	保健室	1		1	
3F	業務部 次部長	2	28	0	18
	企業総務課	8		8	
	企画企画課	6		2	
	経理課	5		4	
	営業料金課	7		4	
2F	工務部 次部長	2	75	0	12
	ガス水道供給課	12		1	
	工務管理課	8		2	
	下水通課	23		3	
	ガス水道建設課	14		2	
1F	料金センター	4	12	4	12
	来客	8		8	

【衛生器具数算定】

階	サービスレベル※	男子			女子	
		男子 (大)	男子 (小)	男子 (洗)	女子 (便)	女子 (洗)
4F	レベル1	2	2	2	2	3
	レベル2	2	2	2	2	2
	レベル3	2	2	2	2	2
3F	レベル1	2	2	2	2	3
	レベル2	2	2	2	2	2
	レベル3	2	2	2	2	2
2F	レベル1	3	3	3	2	3
	レベル2	3	3	2	2	2
	レベル3	2	2	2	2	2
1F	レベル1	2	2	2	2	3
	レベル2	2	2	2	2	2
	レベル3	2	2	1	2	2

【各階の衛生器具個数】

階	男子			女子	
	男子 (大)	男子 (小)	男子 (洗)	女子 (便)	女子 (洗)
4F	2	2	2	2	2
3F	客:1 職:2	客:1 職:2	客:1 職:1	客:1 職:2	客:1 職:1
2F	客:1 職:2	客:1 職:2	客:1 職:1	客:1 職:2	客:1 職:1
1F	1	2	1	2	1



A-6 配置計画 / 平面計画 / 各部計画

- デスクレイアウト
- ・執務ゾーンのデスクレイアウトの比較検討を行い、基本設計においては【B.ユニバーサルレイアウト】でまとめることとした。
 - ・デスクレイアウトについては実施設計段階においても再検討を行い最終決定するものとする。

A. 島型レイアウト

一般的な役所型のレイアウト。課ごとにまとまっているため課内連携が取りやすい。



2階平面図

3階平面図

B. ユニバーサルレイアウト

デスクを均一に並べたレイアウト。フリーアドレスや人数変動に対応しやすくなる。



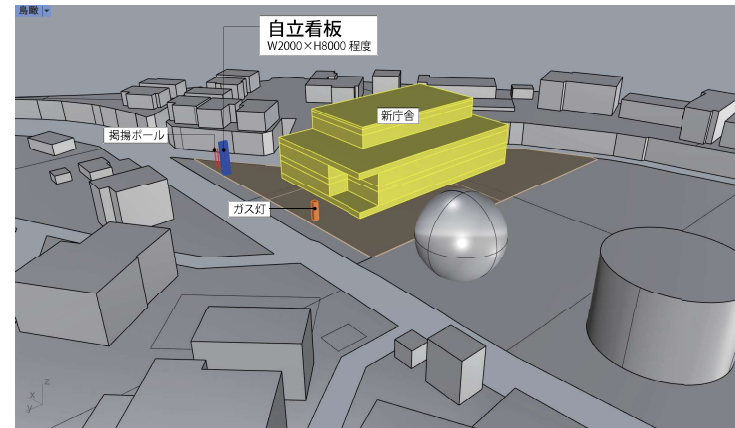
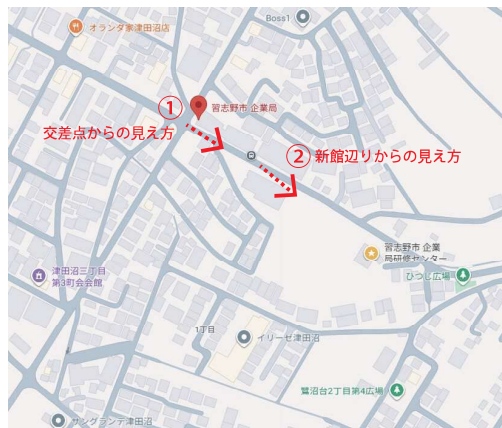
2階平面図

3階平面図

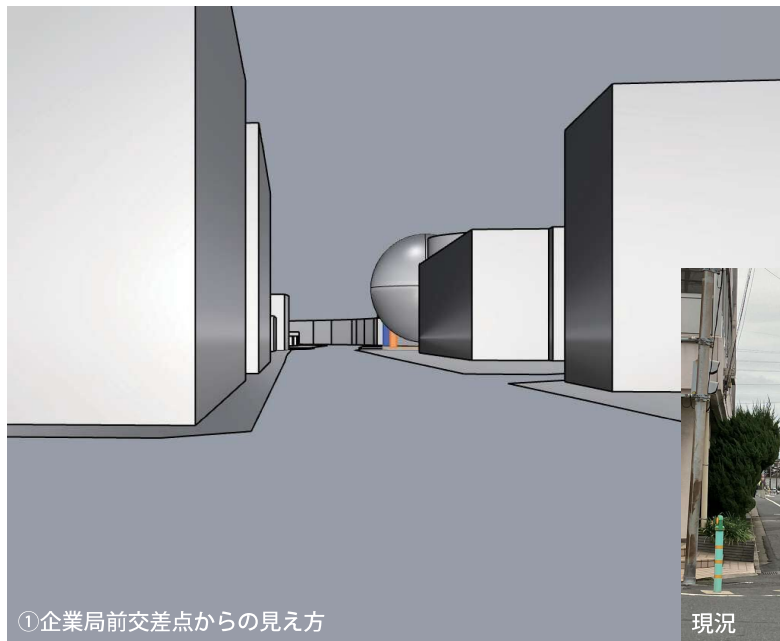
A-6 配置計画 / 平面計画 / 各部計画

■看板

- ・新たに設置予定の看板が敷地周辺からどのように見えるか、簡易なモデリングを用いて検証を行った。
結果は以下の通り。
- ・看板設置位置 / サイズ / 仕様については、実施設計段階で再度検討を行い、最終決定とする。
- ・なお屋上部の看板は日影規制の範囲内では十分な視認性を持たせることができないため、設置しないこととする。



8m 看板の高さイメージ
(習志野市企業局前セブンイレブン)

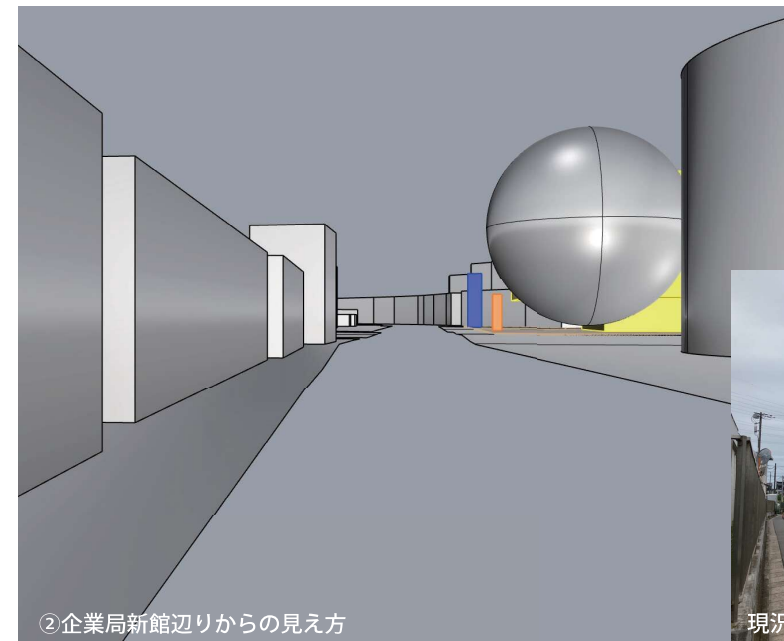


①企業局前交差点からの見え方

→建物はほぼ見えず、ガス灯や自立看板は上部が切られるが見える



現況



②企業局新館辺りからの見え方

→ガス灯も看板も切られることなく見える



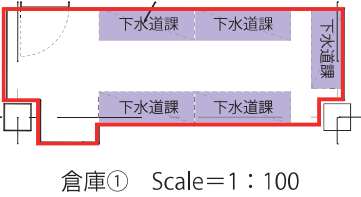
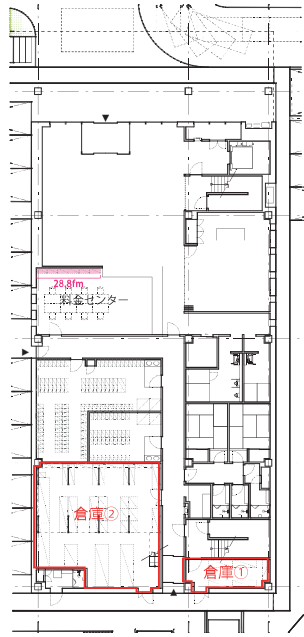
現況

A-6 配置計画 / 平面計画 / 各部計画

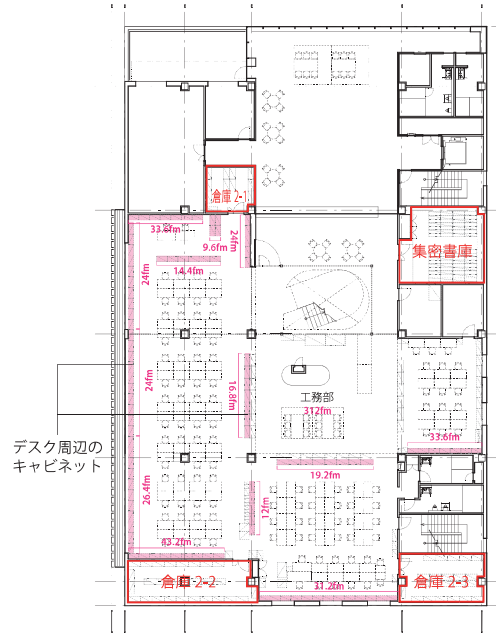
■倉庫
・デスク周辺のキャビネット / 集密書庫 / 倉庫それぞれの収納量は以下の通り。

料金センター

	文書量調査の 要求量	デスク周辺の キャビネットに 入れる分	集密書庫に 入れる分	倉庫に 入れる分
料金センター	3fm	0.4 m ²	3fm	0fm

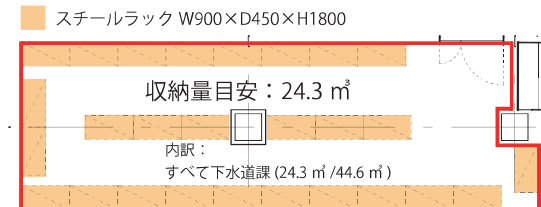


青字：文書量調査での要求量



内訳：
下水道課 (2.0 m² / 44.6 m²)
料金センター (0.4 m² / 0.4 m²)
フリー (7.5 m²)

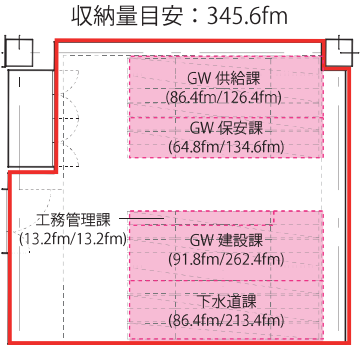
倉庫 2-1 Scale=1:100



倉庫 2-2 Scale=1:100

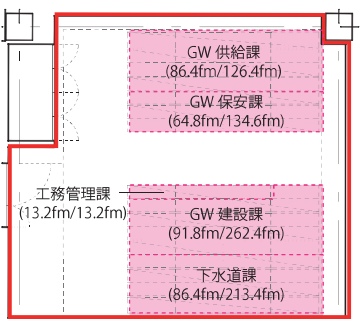
工務部

	文書量調査の 要求量	デスク周辺の キャビネットに 入れる分	集密書庫に 入れる分	倉庫に 入れる分
下水道課	319fm	44.6 m ²	105.6fm	213.4fm
工務管理課	54fm	0 m ²	40.8fm	13.2fm
GW 建設課	332fm	0 m ²	69.6fm	262.4fm
GW 保安課	197fm	0 m ²	62.4fm	134.6fm
GW 供給課	160fm	1.5 m ²	33.6fm	126.4fm

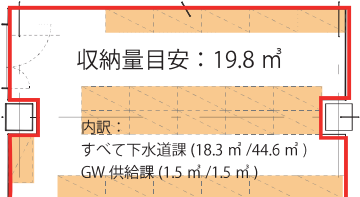


倉庫 2-3 Scale=1:100

収納量目安：345.6fm



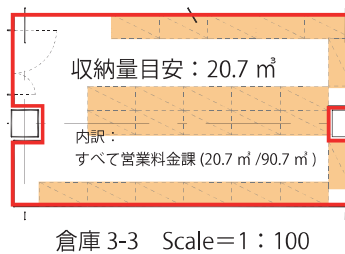
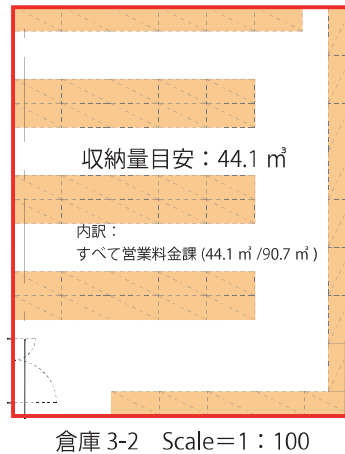
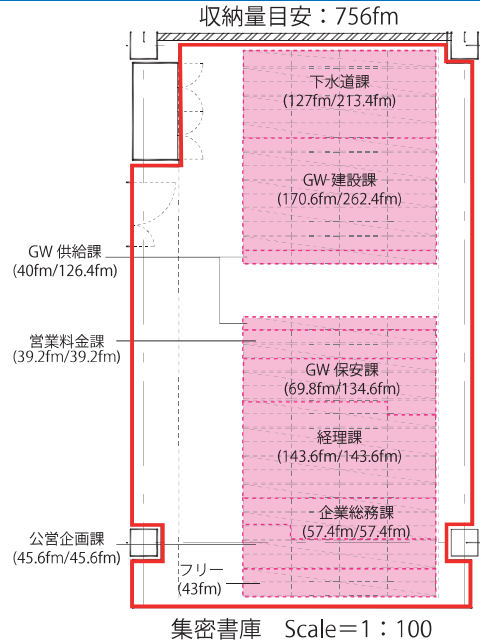
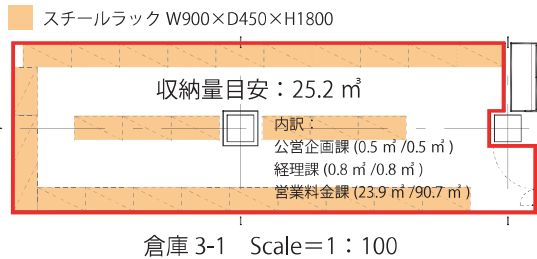
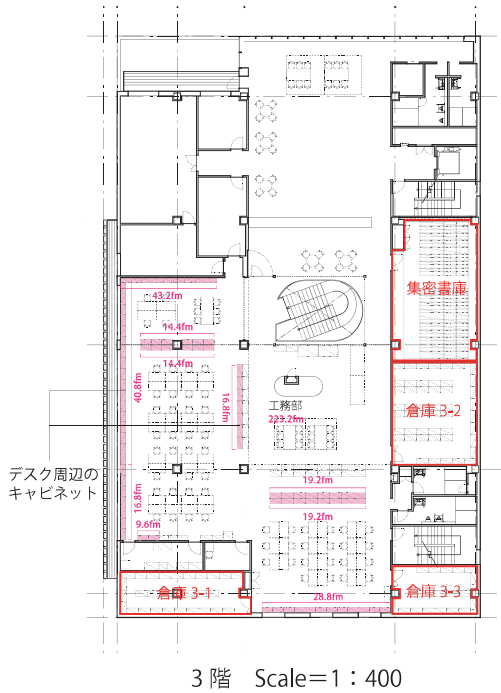
集密書庫 Scale=1:100



倉庫 2-3 Scale=1:100

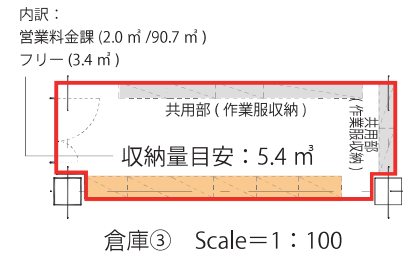
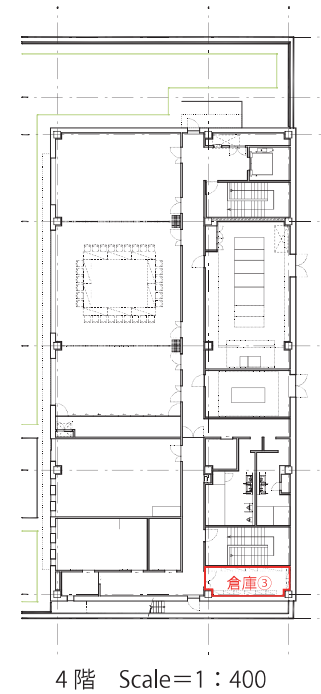
業務部

	文書量調査の 要求量		デスク周辺の キャビネットに 入れる分	集密書庫に 入れる分	倉庫に 入れる分
企業総務課 (次部長ゾーン)	187fm	0 m ²	129.6fm	57.4fm	0 m ²
公営企画課	72fm	0.5 m ²	26.4fm	45.6fm	0.5 m ²
経理課	182fm	0.8 m ²	38.4fm	143.6fm	0.8 m ²
営業料金課	68fm	90.7 m ²	28.8fm	39.2fm	90.7 m ²



全体

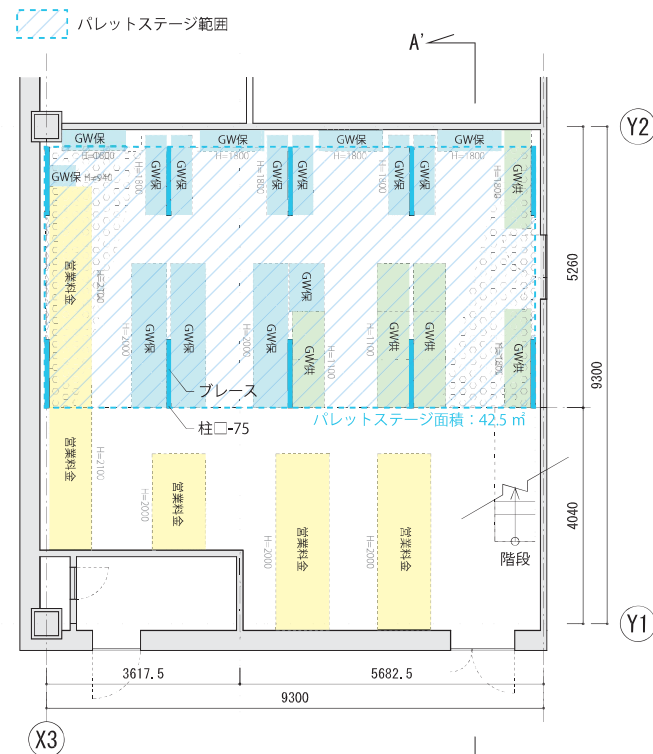
文書量調査の要求量	1578.8fm	138.4 m ²
計画する収納量	デスク周辺の キャビネット 収納量	集密書庫 収納量
	564fm	1101.6fm
	1665.6fm	149.4 m ²



A-6 配置 / 各階平面 / 各部計画

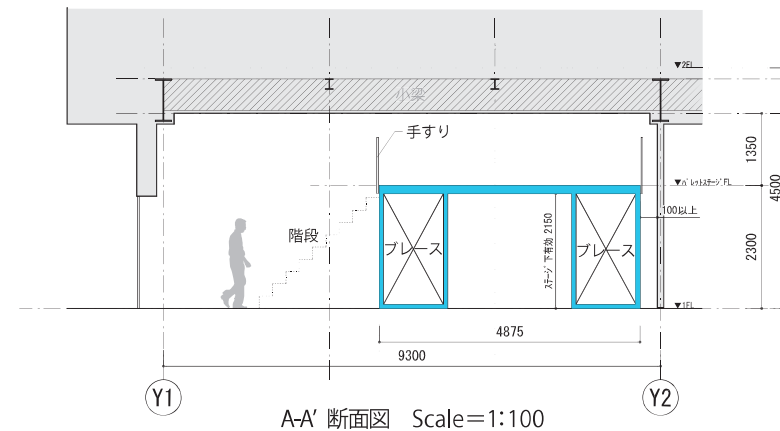
■2 層倉庫（倉庫②内）

・1 階倉庫②に設置する2層倉庫（パレットステージ）の詳細は以下の通り。



倉庫②平面図 Scale=1:100

収納量: (面積 42.5 m²) × (高さ 1.35m) = 57.375 m³

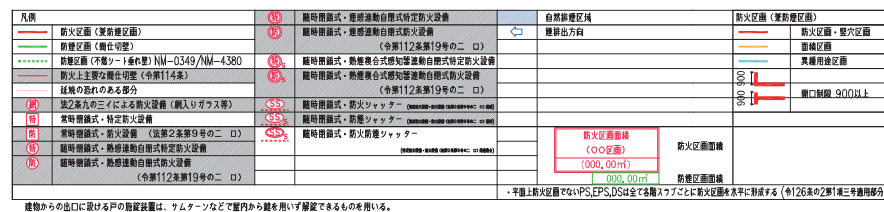


A-A' 断面図 Scale=1:100



パレットステージイメージ写真

A-6-05 排煙・防火区画





A-7-02 矩計図

